

# まにわ

ざっくばらんに語れましたか？

## 議会報告会＋市民と語る会

「地域の課題をざっくばらんに語ろう」と呼びかけた真庭市議会報告会＋市民と語る会が、

1月26、27、28日の3日間、市内12会場で開催され233人が参加しました。内訳は河内34人、勝山10人、中津井9人、皆部8人、川東38人、富原42人、美川16人、川上8人、余野17人、月田16人、木山25人、八束10人でした。

総務常任委員会から自主防災組織について、文教厚生常任委員会から園・学校整備計画について、産業建設常任委員会から市道新設・改良評価基準の新設について、それぞれ5分ほどの報告があり、続いて市民と語る会を行いました。語る会の進行

3班	1班
4班	2班

特集：議会報告会  
＋市民と語る会

は、1班2班3班4班に全て任せており、各班とも特徴ある展開を目指しました。市民の言いたいこと、聞きたいことを付せん紙(ポストイット)に書いて、黒板に貼っていきながら、互いにしゃべっていく手法も見られました。

市政に対して政策提案につなげていけるもの、地域の要望を市政に届けるもの等々、たくさん意見が出され、約束していた2時間を超える会場もありました。出された意見は各班でまとめ、正副班長・議会運営委員会合同会議で様式を整え、真庭市議会のホームページで公表しています。実施報告書の見方は、23ページに記載しています。

次回は5月16、17、18日の3日間、市内12会場でざっくばらんに語ろうを開催します。参加くださいますようご案内いたします。

次は5月16、17、18日に12会場で



付せん紙(ポストイット)を使って話を展開する月田会場

233人

# 1 班

副班長：中尾哲雄 入澤廣成  
小田康文 福島一則 山本久恵

## 河内、勝山、中津井へ

1 班 班長 初本 勝

議会報告会＋市民と語る会を開催し、3日間大変寒い中、大勢の方に出席いただき、多くの意見、声を聞くことができました。日々お困りのこと、少子高齢化社会のこと、小中学校の子どもの減少による今後の地域づくりのこと、地域を守る難しさ等、日頃困っていることをしっかりと聞かせていただきました。この度の市民と語る会で一番気を遣ったのは、議会からの報告はなるべく少なくし、市民皆様の意見を聞くこととし、来場してくださった全員の方から話を聞きたいと、付箋を配り、日頃困っていること、心配なことを書いていただき、それを来場者全員の前で紹介し、答弁ができることはその場で答え、分からないことや今後の計画等は持ち帰り、担当する常任委員会に伝えて調査研究し、市役所担

当部署にも検討いただくこととして、結果を公表することとしました。1人でも多くの人に参加していただくことと、今まで言いたいと思っていなくてもなかなか話す機会がなかった市民の声を吸い上げることに努力しました。おかげさまで、よい形で会議を終了することができ、職員である議員も目的を達成することができたと考えています。

今回の開催単位である小学校区といえども、大変広範囲な地区とまとまったコンパクトな地区があり、広い地域は毎年場所を変えて、なるべく狭い範囲で実施し、1人でも多くの市民皆様の声を聞くよう頑張っていきたいと考えています。毎日頑張って議員活動をしているつもりでも、市民の皆様からはしっかり頑張れと厳しい声をいただきました。本当に寒い中、出向いてくださり、いろいろとご意見、ご指導をいただき、ありがとうございました。今後、若い方、高齢の方々が住みやすい真庭市を市民の皆様とつくるために努力したいと思っています。

# 2 班

副班長：福井荘助 柴田正志  
庄司史郎 妹尾智之 原 秀樹

## 皆部、川東、富原へ

2 班 班長 柿本 健治

「さつくばらんに語ろう」をテーマに実施した、「議会報告会＋市民と語る会」で2班は、皆部・川東及び富原小学校区の3地区を訪問し、延べ88人の方の参加を頂き地域の抱える課題を中心に有意義な意見交換ができたように思います。

参加を頂いた方々に厚くお礼を申し上げます。多くの方に参加頂きましたが、女性や若い方の参加が少なかった事が今後

の課題と考えます。

意見交換では、人口減少や少子・高齢化が進むなか、次のような地域課題への提言や意見を頂きました。

- 1、Iターン・Uターン転入目標1%設定
- 2、学校統合後の跡地利用、災害時の避難所対策
- 3、ふるさと納税制度の返礼品活用による活性化策等
- 4、看護師や医療スタッフ確保対策の必要性
- 5、地域公共交通の拡充と移動手段の確保策について
- 6、介護施設の充実拡充策と入所情報共有体制整備について
- 7、公共事業の施策決定に対する議会の関わり方や行政サービス変更時の決定の在り方

等貴重な意見を多く頂きました。

我々議員の役割は、自治体の「二元代表制」の一翼を担うため、住民代表として、地域課題の市政反映努力と執行部の施策推進をチェックする「チェック機能」の強化を図り、市民の負託に応える事が重要との思いを改めて痛感させられた「議会報告会＋市民と語る会」であったと思っています。

今後も、市民の信頼が得られるよう、開かれた議会づくりに向け微力を尽くして参りたいと考えますのでご理解のほどお願いを申し上げ「まとめ」とさせていただきます。

## 真庭市議会報告会

## ＋市民と語る会

地域の課題をさつくばらんに



## 美川、川上、余野へ

3班 班長 古南 源二

私たち3班は、1月26日（金）美川小学校区内の関コミュニティハウスで開催し参加者は16名でした。27日（土）川上小学校区では川上コミュニティセンターで開催し、参加者は8名でした。28日（日）余野小学校区では高仙の里よの「なつづばき」で行い、参加者は17名でした。今年度は議会報告に加えて「ざつくばらんに語ろう」という企画で行いました。

以前の議会報告は1常任委員会が15〜20分間原稿を読み上げるだけでしたが、今回は参加者が聞くだけでなく話が見えるように考え、我々の班は議会からの報告事項はパワーポイントを用いてスクリーンに映す方法で行いました。アンケート結果では賛否両論ありました。ざつくばらんに語る場面では、地域の事情を理解している議員が

# 3班

副班長：中元唯資 緒形 尚  
河部辰夫 谷本彰良 築澤敏夫

いた方が良い場面もあり、参加者のアンケート結果にも出ていました。アンケートは各会場共全員が記入していただきました。

市民から要望事項が出て、後日調べて回答することや聞き留める事しかできず、議会は執行部のように執行権を持つておらず、その場で回答を返すことができないことに対して、参加いただいた方には期待はずれに終わったと思います。

今、議会内で検討中のタブレットがあれば、害獣駆除の補助金制度や空家対策補助金制度などについても、即座に詳細な説明ができたと思います。今後に期待するところです。

議会改革として、年1回市民と語る会を実施することは市民に見える議会活動の方法と思います。また、各常任委員会でも各種団体と意見交換も行っており、徐々にではありますが本当のざつくばらんな市民の意見が聞こえてくると思います。より一層の活性化する議会になるよう努力します。

# まとめ

語れましたか？

## 月田、木山、八束へ

4班 班長 竹原 茂三

我々4班は、月田小学校区、木山小学校区、八束小学校区の3小学校区に出向き「議会報告会+市民と語る会」を開催しました。今までと違い小学校区の開催で、より市民の皆様の意見、それぞれの地域での問題点等をどう聞き出すか、政策提言に結び付ける意見が出されるか、そのためにはどのような進め方をするか、審議の結果付せん紙（ポストイット）を使い、来てくださった方

# 4班

副班長：氏平篤正 岩本壮八  
大月説子 岡崎陽輔 長尾 修

全員に質問を書いてもらうことにしました。月田小学校区16人、木山小学校区25人、八束小学校区10人の参加で皆さんそれぞれ多くの意見を書いてくださり、書いた方に説明をしていただき、それに議員が返答し、市民の方とどうすればよくなるか語りあうことができた反省会で班全員の感想であります。

「看護師・介護士の資格取得を支援してはどうか」「放課後児童クラブ支援員の方々の保険を検討してはどうか」「蒜山の自転車道を夏も冬も活用できるような観光戦略を考えたらどうか」等、また各地域独自の問題も多く出され、政策提言に結び付ける必要がある提案もなされました。また、参加された皆さんから「みんなの意見が聞かれてよかった」「このような報告会なら毎年開催してほしい」との感想が聞かれました。

今までの議会報告会では聞かれなかった参加者の感想であります。9か町村単位でなく小学校区単位に枠組みを小さくしたことが良かったと感じるところであります。

問題点としては、今回の新しいやり方において議論をよりスムーズに進行していく方法を我々が修煉していく必要があり、また開催地域の把握をある程度はしておく必要があります。

3

平成30年3月第1回真庭市議会

MANIWA  
GIKAI

## 3月定例会

会期2月26日～3月23日

平成30年度当初予算

486億9,978万円を可決しました。

一般会計当初予算 290億1,000万円  
 特別会計当初予算 130億6,387万円  
 公営企業会計当初予算 66億2,591万円

対前年比 38億6,985万円(7.4%)減 予算特集は7ページに掲載

【主な内容】今回の一般質問は15人。

- ・平成30年度当初予算14件及び補正予算13件を可決。
- ・議案27件を可決。教育委員会委員、人権擁護委員を同意しました。

平成29年度 3月補正予算

5,754万円の減額

(単位:万円、千円を四捨五入)

補正後予算額 550億1,954万円 対前年比 20億8,200万円(3.9%)増

命同意しました。5月20日に退任される小谷眞人氏、13年の長い間ありがとうございました。



新しい教育委員に徳山周一氏を任命しました。

教育委員会に  
徳山周一氏

単位:万円		
会計名	3月補正額	補正後予算額
一般会計	33,439	3,370,322
国民健康保険特別会計	△36,719	593,289
後期高齢者医療特別会計	1,047	74,571
介護保険特別会計	2,017	608,408
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	△174	4,748
簡易水道事業特別会計	△2,021	92,097
浄化槽事業特別会計	△11	9,454
津黒高原観光事業特別会計	0	2,525
グリエー管谷事業特別会計	△54	945
温泉事業特別会計	△869	12,155
特別会計合計	△36,782	1,398,192
農業共済事業特別会計	△559	27,412
水道事業会計	△3,205	163,342
下水道事業会計	1,060	364,069
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	294	178,616
公営企業会計合計	△2,411	733,439
合計	△5,754	5,501,954

千円を四捨五入

除雪費3,359万円など  
 3億3,439万円を増額  
 一般会計3月補正予算  
 歳出の主なものは、国の補正に伴う国土調査事業1,48万円の増額、除雪経常管理費3,359万円の増額、行政告知放送整備事業の入札残898万円の増額などです。

等1億9,109万円の減額、生活保護費の減額等1億5,980万円の減額、公共施設整備等基金積立金6億3,624万円の増額、借金返済に充てたための減債基金積立金6億1,898万円の増額などです。

育児休業は2歳まで

非常勤職員の育児休業の期間を1歳6か月までだったものを、条件を満たした場合、2歳まで延長できるように市条例の改正をしました。

休業中の給与の支給はどうか。

A 給与の支給はなし。育児休業給付金が公共職業安定所より約67%支給される。

## 市財産を美甘のもち屋と

## (株)しげやに貸付

平成28年3月に廃校となった旧美甘中学校校舎の一部を「シェア工房美甘」として時価より安い価格で貸付します。貸付相手は美甘のもち屋(代表者・澤本基兄)と株式会社しげや(代表者・笹尾充)で、どちらの事業者も地域の農林水産資源を活用した地域産品の6次産業化を行い、地域産業の活性化、雇用の創出など地域振興につなげることを目的としています。



「シェア工房美甘(美甘のもち屋)」お披露目会

主な  
議決  
内容

貸付期間は、平成30年4月1日から10年間で、貸付料は月額1万9,430円。貸付面積は406.08㎡。貸付料の算定は評価額を基に事業の目的を考慮して8割の減免を行い、3年間は無料とします。

**Q** 契約後の撤退、廃業はどのように考えているか。

**A** 今回の契約で違反金ということは考えていない。協議により合意解約とする。

## ミニゴルフ場を市民の広場へ

蒜山地域にある蒜山高原スポーツ公園内のミニゴルフ場は、気軽にゴルフを楽しむための施設として、平成2年に開設しているが、近年のゴルフ人口の減少や周辺にあるゴルフ場の利用料が安価となってきたことで、当該施設の利用者が激減している。今回、ミニゴルフ場を廃止し、市民に開放することとした。

**Q** 廃止ということだが、現状は利用していない、もしくは利用を中止しているという現状の中で条例を改正するのか。

**A** 今でも施設は利用しているが、平成10年度の利用者は4,000人、収入も821万円ほどあった。平成28年度の利用者は491人、収入は82万円と、利用者も収入も10分の1程度まで落ち込んでいる。

**Q** 利用者への説明を含め、合意形成はとれているのか。

**A** 市内の利用者が3割程度で、あと市外の方の利用が多い。条例の施行が平成31年4月1日となつているため、利用者の方に1年間かけて説明していく。また、広報活動も行う。

## クリエイト菅谷の施設

## 使用料を値上げ

美甘地域の豊かな自然環境の中で余暇を過ごしていただく



3月15日クリエイト菅谷を視察する産業建設常任委員会

く施設としてあるクリエイト菅谷の施設使用料金を、施設運営の安定化を図ることを目的として、民間で定着している繁忙期、閑散期という考え方を取り入れ、繁忙期における原価算定方式により算定見直しを行い、使用料金の値上げを行う。老朽化が進み利用実績のない河田民家、耐用年数を経過した備品を廃止します。

**Q** この料金改定によって、どれだけ収支が改善されるのか。

**A** 利用者数を現状維持として試算した場合、約400万円の収入増となる見込みである。



蒜山のミニゴルフ場



# 主な 決 議 内 容

## 国保の財政運営の主体が県に移行

平成30年4月から、これまでの市町村に加え、都道府県も共同して国民健康保険制度を担うため、真庭市国民健康保険条例の一部を改正しました。

議案採決にあたり、次のとおり討論がありました。

### 【討論あり】

#### 【反対】岡崎陽輔 議員

本議案は、4月から、都道府県が国保の「保険者」となり、市町村の国保行政を統括・監督する仕組みがスタートするための条例改正である。

この仕組みは、今後、財政安定化基金や、保険者努力支援制度などで、市町村に保険税を上げさせる圧力になる

ものである。今以上に、過酷な保険料徴収が強まる危険性もある。

また、市町村が独自に実施している保険料軽減のための財政措置の縮減・廃止の可能性もある。国保の都道府県化そのものに反対する立場から、本議案に反対する。

#### 【賛成】緒形 尚 議員

岡山県も保険者に加わり、国民健康保険の財政運営の責任主体として、真庭市も地域住民との身近な関係の中で資格管理や保険の給付、保険料税の決定や賦課、徴収保険事業など、引き続き地域におけるきめ細やかな事業を行うという役割を担うものである。県と市が役割分担することで持続可能な安定した国民保険制度を目指し、住民福祉の向上につなげるための条例改正であり、本議案に賛成する。

#### ▼議案に賛成した議員：

※議席番号順

氏平篤正、福島一則、山本久恵、妹尾智之、岩本壮八、竹原茂三、柴田正志、緒形尚、中元唯資、柿本健治、初本勝、大月説子、庄司史郎、入澤廣成、福井莊助、中尾哲雄、原秀樹、古

南源二、築澤敏夫、河部辰夫、小田康文、谷本彰良  
▼議案に賛成しなかった議員：岡崎陽輔

## 介護保険料を増額改定

第7期介護保険事業計画

に基づき、保険料を増額、低所得者の負担軽減を行うため、真庭市介護保険条例の一部を改正しました。議案採決にあたり、次のとおり討論がありました。

### 【討論あり】

#### 【反対】岡崎陽輔 議員

本議案は、65歳以上の第1号被保険者で、月額510円、率で9.9%保険料を引き上げるものである。市民に新たな負担増を求めるものである。年金の目減り傾向や物価の上昇による高齢者世帯の負担は決して少なくない。

#### 【賛成】緒形 尚 議員

増額の要因は、高齢者人口の増加、それに合わせ認定者数が増加傾向にあること。介護報酬の改定がされ0.54%の増額になったこと。第1号被保険者の介護給付費負担割合が22%から23%に変更に

## 傍聴される方は4階へ

真庭市議会の本会議・委員会を間近で傍聴してみませんか。議会だよりの紙面では、お伝えできない議員の生の活動が伝わってきます。



また、本会議の様子は真庭いきいきテレビで生中継されています。議員の発言の際、傍聴席が生中継に映り込む場合がありますが、ご了承ください。

傍聴を希望される方は、議会開会中に真庭市役所4階にお越しください。議場の入り口で、住所、氏名、年齢をご記入いただければ、簡単に傍聴席へお入りいただけます。傍聴席は30席用意しています。

なったこと。看護小規模多機能型居宅介護など、新たな施設整備をすることが上げられる。そういった状況を踏まえると、住民福祉の向上、介護二一ズに因應するための条例改正であり、本議案に賛成する。

#### ▼議案に賛成した議員：

※議席番号順

氏平篤正、福島一則、山本久恵、妹尾智之、岩本壮八、竹原茂三、柴田正志、緒形尚、中元唯資、柿本健治、初本勝、大月説子、庄司史郎、入澤廣成、福井莊助、中尾哲雄、原秀樹、古南源二、築澤敏夫、河部辰夫、小田康文、谷本彰良  
▼議案に賛成しなかった議員：岡崎陽輔

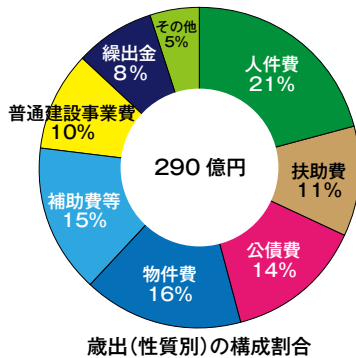
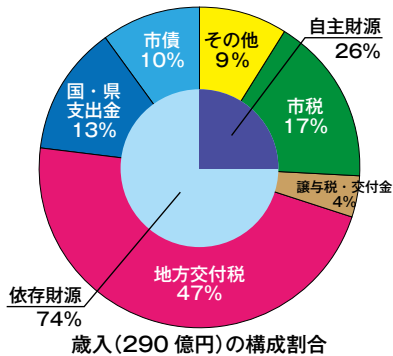
# 平成30年度 予算

委員長 岩本 壯八  
副委員長 谷本 彰良

3月16日、議長を除く23人の議員で予算審査特別委員会が開催され、当初予算と補正予算の概要について各部長、課長から説明があり、委員から多くの質問があった後、すべて原案どおり可決しました。

## 一般会計当初予算 290億1,000万円

平成30年度一般会計の予算規模は、歳入歳出とも290億1,000万円、前年度に対し、20億5,500万円、6.6%の減となっています。これは北房教育関係整備事業、中央図書館施設整備事業、真庭火葬場整備事業が終了したことが原因です。



### 一般会計予算主要事業

#### 1 真庭市民の誇りと責任

3億5,600万円

- ・市税賦課関係経費5,968万円
- ・自治会長報償金 1,924万円

#### 2 ライフスタイルを実現する可能性の進化

70億1,000万円

- ・乳幼児・児童生徒医療費給付事業 1億8,425万円
- ・学校空調設備整備事業

1,098万円 ↑

#### 3 多彩で環境性のある持続可能なまち

22億1,400万円

- ・地域資源を生かした地域振興事業 2,304万円
- ・関係人口構築事業

1,003万円

- ・魅力ある働き方実現事業 (UIJターン対策)

844万円

- ・真庭観光局設置・魅力ある観光真庭推進事業 6,767万円

#### 4 生活しやすく品格のある都市

45億5,500万円

- ・行政告知放送整備事業

5億3,278万円

- ・ライブカメラ更新事業

1,296万円 ↑

特別会計・企業会計を含めた全会計の合計は、約487億円

- ・消防湯原分署移転改修事業 1,843万円
- ・真庭エコライトCITY事業 2,950万円
- ・蒜山図書館施設整備事業 3,536万円
- ・生ごみ等資源化施設整備事業 1,662万円
- ・旭川サイクリングロード整備事業 9,400万円
- 5「ひと」と「まち」の将来に責任を持つ市役所 148億7,500万円
- ・湯原振興局庁舎移転事業 1,475万円
- ・公共施設長寿命化対策事業 1億1,482万円
- 6 人口減少対策(内数) 18億3,100万円
- ・空き家活用補助事業 2,300万円

平成30年度 当初予算会計別一覧表 (単位:万円)

国民健康保険特別会計	494,019
後期高齢者医療特別会計	77,909
介護保険特別会計	602,005
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	5,029
簡易水道事業特別会計	100,359
浄化槽事業特別会計	9,285
津黒高原観光事業特別会計	2,866
グリエイ管谷事業特別会計	875
温泉事業特別会計	14,040
特別会計合計	1,306,387
農業共済事業特別会計	30,089
水道事業会計	117,858
下水道事業会計	338,747
国民健康保険湯原温泉病院事業会計	175,897
公営企業会計合計	662,591

千円を四捨五入して万円単位で表記しています



7月にオープンする真庭市立中央図書館 総事業費は約8億2,000万円



# 総務常任委員会

成夫正子良樹助恵  
廣敏篤説彰秀莊久  
澤澤平月本 井本  
入築氏大谷原福山  
委員長 委員長 委員長  
委員 委員 委員  
委副委 委副委 委副委

平成29年12月13日及び平成30年2月13日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いましたので報告します。

## 《総合政策部》

### ■人口減少対策官民一体の取り組み

真庭市の人口減少及び人口構成の変化が、商店の減少、地域経済の衰退、空家及び耕作放棄地の増加、地域集落の崩壊、児童・生徒の減少等による学校統廃合など、真庭市の持続可能性に大きな影響を及ぼすことが懸念されている。これらの課題に対応していくために行政の力だけではなく、市民やその代表である市議会、企業や各種団体、学校等との更なる連携をし、一体となつて取り組みを進めて行くとの説明がありました。

### ■地域づくり委員会の適切なコミュニケーション範囲の検討

現在の状況は、複数の小学校校区で構成されており地域づくり活動の場

としては対象範囲が広すぎる。地域づくり委員会としては補助金の説明開催や視察研修にとどまっているとの説明がありました。

移住者受け入れ等課題解決に向けた協議が進められている地域自主組織がある。小学校区で、空家対策や住民による交通手段確保等、地域の課題解決に向けて協議を行っている地域づくり委員会がある。課題検討が出来るような組織として、進めて行きたいとのことでした。

**Q** 地域づくり委員会は各振興局単位で構成され、活動しているが市全体の集まりは無いのか。

**A** 市全体の連絡会も検討しているが市全体の集まりは無い。組織の再編はこの形で良いという明確なものが出ていない。

### ■持続可能な開発目標の取り組み

国連は2030年を期限とする国際社会全体の開発目標（SDGs）として、貧困、飢餓、教育、ジェンダー、水・衛生、エネルギーなど包括的な目標17項目を設定しました。

開発目標は地方創生に向けた政策を進めて行く上でコミュニティ再生、少子高齢化、教育、雇用対策、防災対策、環境対策、人口減少、人材活用であり、まさに真庭市が取り組む総合計画そのものである。人口対策も含めて取り組み、将来の子ども達に未来、夢、希望がある真庭市を目指したいとの説明がありました。

**Q** 地方創生に向けて、かなりの目標だが、現時点ではどの程度推進されているのか。今後の予定は。

**A** バイオマス発電、CLT、液肥も含めて積極的な取り組み等、総合計画の審議会にかけて市民の皆さんも加わって大人から子どもまで取り組めるような計画にしていきたい。

## 《危機管理課》

### ■避難情報発令等の準備

防災関係機関からの情報や市が収集した情報等から判断し、市の本部会議において避難行動に関する情報を発令する。なお、県から真庭市に



市道草加部線 大上橋の水位メモリ

ベル2（土砂災害に警戒）、レベル3（土砂災害に嚴重警戒）の土砂災害警戒情報が出た経緯がありますが、避難準備情報は出していないとの説明がありました。

**Q** 市民の目安になるように橋桁の水位のメモリが必要。県と相談はできないか。

**A** 河川に簡易水位計を設置する事業が始まっている。どこに設置するか大きな問題。ライブカメラではパソコン、スマホで河川の状況を確認できるようにしているが、夜間は確認できない。この点を解消するため更新を計画している。



# 文教厚生常任委員会

治尚輔二之三勝則  
健陽源智茂一  
本形崎南尾原本島  
柿緒岡古妹竹初福  
委員長 員 員 員 員  
委員 委員 委員 委員  
委員 委員 委員 委員

平成29年12月13日、平成30年1月22日及び2月13日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いましたので報告します。

## 《生活環境部》

### ■施設候補地に6地区が応募

1月末で公募が締め切られた生ごみ等資源化施設の候補地について、6地区（上市瀬、中、古見、赤野、中島、福谷）から応募があつたことこの報告を受けました。

3月までに応募地区と詳細な協議を行い、4月から市民代表や外部専門家等による選定委員を選出、選定委員会を3回程度開催し、平成30年の夏頃には候補地を決定する予定とのことでした。

委員からは「市民からの質問も多く、高い関心を持たれた事業であり、地域の合意形成に向けた努力の大切さを改めて感じている。時間がかかっても丁寧に進めてほしい。」という意見がありました。

## 《健康福祉部》

### ■福祉関連計画案への意見を提出

平成30年度に向けて策定中の「第2次真庭市地域福祉計画」等3つの福祉関連計画案について調査研究を行い、公の責任の位置付けを明確化すること等、委員会としての意見を部長あてに提出しました。

## 《教育委員会》

### ■児童・園児の安全確保を第一に

平成30年4月開校・開園の北房地域新教育環境整備事業の進捗状況について、部分的に工事の完成が遅延するとの説明を受けました。

4月の開校・開園以降、日常的な教育活動・給食提供・緊急車両の通行に支障はないが、8月までは行動区域に一定の制限があり、通学・通園を含めた児童・生徒の安全確保に配慮が必要となる。工事が残るのは、外構工事の一部・グラウンド工事の一部と、交差点改良工事。遅延の理由は、CLTを積極的に取り入れる

ための設計の見直しや補助金を受けるための関係機関との協議に時間を要したことや、スクールバスの乗降場所の変更に伴い、発注予定が3か月程度遅れたこと等が主な要因であるとのことでした。

委員からは「児童の安全確保にあたっては保護者の意見をしっかりと聞



工事が完了した中央図書館 3月19日視察

社会教育法で規定された営利・政治・宗教に関する制限及び禁止事項を念頭に、統一的な対応が図れるよう施設の使用に関する要綱を策定し、申請時には入念な審査を行うとともに、申請内容と異なる場合は使用許可を取り消すとのことでした。

委員からは「社会教育施設は誰もが平等に使用できることが原則であり、取扱いは明確に提示するべきである。市内すべての公民館との整合性も図る必要がある。」という意見がありました。

「いていただきたい。」事故が無いように教育・子育てができる環境こそ一番重要であるため、十分注意して整備を進めてほしい。」との意見がありました。

**Q** グラウンドの使用が限られるが、体育等の授業に支障は出ないのか。

**A** 運動場の一定部分は使用できるため、体育の授業は可能。

### ■市民参加型の図書館を目指して

平成30年7月開館予定の市立中央図書館の映像シアターや会議室の利用について、市民の自主的な活動を支援し、施設の積極的な活用を図るため、公益性、非営利性の認められる事業に限り、一定の制限のもと、入場料等の徴収を認める方向で検討しているとの説明を受けました。

# 産業建設常任委員会

夫郎 八文志修 雄資  
辰史 壯康正 哲唯  
部司 本田田尾 尾元  
河庄 岩小柴 長中  
委員長 員員員員  
委員 副委員長 委委委委

平成29年12月14日及び平成30年2月14日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いましたので報告します。

## 《建設部》

### ■市内全域の空家の実態を調査

都市住宅課から、平成30年度に委託事業により空家の実態調査を行うとの報告がありました。市内全域の空家について、個別具体的に所在状態等を調査し、科学的に分析し、空家対策計画の策定まで予定しているとのこと。

**Q** 計画を策定した以降のことはその時に考えるのか。空家の所有者へのアプローチは誰がどう行うのか。

**A** 計画に基づいて実施する。空家は取り壊しの観点と、利活用の観点があるが、危険家屋など壊す場合は早急に取り組めるよう計画に反映させる。まずは実態調査で把握し、その後は計画を練る段階で具体的な方策を考えていく。



真庭観光局開所式 4月1日

## 《産業観光部》

コンパクトシティ化が必要だが、地域の活性化も必要。平成30年度に抜本的な議論を進め、計画をつくっていくとのことでした。

■観光による地域活性化を目指す

産業政策課から、真庭版DMO一般社団法人「真庭観光局」設立について報告がありました。4月1日に設立、理事長は佐山修一氏。市から部長級1人を含む3名の職員を派遣。ブランド発信やマーケティング調査、滞在交流プログラム等を実施し、観光による地域活性化を目指していくとのこと。

**Q** 観光戦略では、香港・台湾が、この地域からの伸びが期待できるのか。

**A** 岡山空港において、台湾からの便が増便になるとの情報もある。台湾はサイクリングに興味のあるところと聞いており、いま整備している自転車道を含めて取り込んでいきたい。岡山県が強化していくところも香港・台湾が中心であり、真庭市単体ではなく、県や観光圏で連携していく。

### ■ジビエカーで広域連携

農業振興課から、有害鳥獣駆除を強化するため、これまで補助対象外としていた狩猟期間について、国県の事業を活用し、有害鳥獣駆除であれば通年で補助するとの報告がありました。

また、美作市や奈義町と連携し、美作市の鳥獣処理施設を利用し、広域連携でジビエの振興をしていくとのこと。移動式のジビエ解体・処理施設である「ジビエカー」導入に向けて、コスト面や運営主体について検討するとのこと。

## 《湯原振興局》

■入湯税を配湯施設の更新に活用  
湯原振興局から、配湯施設の更新・整備のため、平成30年度から、湯原温泉及び下湯原温泉の配湯区域に係る入湯税相当分を一般会計から繰り入れし、温泉事業基金へ積み立てするとの報告がありました。





真庭市議会

3月定例会

一

般

質

問

一般質問の記事は質問した議員本人の原稿に基づいています。

## 会派代表質問

里山復元策を  
制度化すべき

未来代表  
柿本健治



## 問

農業の近代化に伴い、里山の経済林としての価値が減少し、荒廃が進み野生動物の生息地となっているのではないかと考える。

里山復元事業を制度化すべきと考えるが見解を伺う。

答  
太田市長

森づくり県民税を財源とした緩衝地帯整備に対する補助制度もあるので、地域の人と一緒に考えたい。



荒廃が進む里山 湯原地域

子育て支援策と保  
育士確保策は

## 問

人口減少問題は地域存亡の危機にあり、子育て支援策は人口減少対策の最優先課題と考えている。

結婚支援策から出産・子育てと切れ目のない支援策に取り組んでおり、平成27年度の合計特殊出生率は、県下トップとなっている。就学前保育・教育などの取り組みは、園整備計画を策定し対応しているが、地域では統廃合も進んでいる。子育て支援策の中心的役割を担っている保育士の確保が大きな課題となっている。保育士の半数近くが非正規職員であるが、来年度に向け

た状況はどの様になっているのか。また、確保策をどのように考えているのか。

答  
太田市長

入園希望園児は、1,441名で保育職員は必要数を確保している。年度途中で3歳未満児を中心に100人前後の入園希望があり、年度途中で不足する職員については短期臨時職員で対応していく。今年度から、保育補助員制度を入れて担い手確保に努力している。

健康寿命延伸策の  
推進を

## 問

健康寿命の延伸と、認知症予防策が喫緊の課題となっており、認知症予防体操「元氣☆輝きエクササイズ」の普及推進が重要と考えている。地域づくり委員会単位の見直しに合わせて、生活圏域での支え合いの仕組みづくりを行い、「元氣☆輝きエクササイズ」の普及を推進すべきと考えるが所見を伺う。

**答** 太田市長

地域づくり委員会単位の見直しについては、生活圏など馴染みのある小学校区を基本に地域で議論して頂く。「元気☆輝きエクササイズ」は岡山大学に分析をしてもらったところ、予防効果が期待される結果が出ている。生活圏の単位で普及出来たらと思う。

## 基金残高の推移と財政運営

**問**

政府は、地方自治体の基金残高や行政サービスの水準の見える化を通じて地方行財政の改革を推進するとしており、骨太方針2018でも基金残高の推移が話題になる事が予測されており、国に対して地方交付税算定において基金残高を課題にすべきでない旨の要請行動を行うべきと考えるが所見を伺う。

**答** 太田市長

財務省は、平成31年度から新しい枠づくりという攻撃をかけてくると思っている。地方6団体一緒になって国に要望していく。

## 自主防災組織の代表者が一堂に集える連絡協議会設立

緑真会代表  
初本 勝



**問**

安全・安心で魅力的な地域づくり、自主防災組織の設立と育成強化を推進し、連絡協議会を設立、地域の防災力を高める支援をしていくと言っているが。

**答** 太田市長

自主防災組織の設立、育成については、防災知識の広報活動、あるいは未設置組織を対象とした、出前講座、育成強化を目的とした防災訓練等の業務をスポーツ・レクリエーション倶楽部くせと共同して実施する。自主防災組織ができていくので、代表者が一堂に集まる連絡協議会をつくっていきたいと思っています。

## 力強い循環型地域経済づくり

農林業の独自の付加価値を高め「回る経済」の進化、発展を協働で目指す具体的な構想は。

**答** 太田市長

経済の関係で、農業分野について、多彩な真庭と言っているが、南部の水田、果樹の地域から蒜山高原、酪農地域まで、山間部も含めてさまざま



未来に残したい旭川

**答** 太田市長

持続可能な真庭の環境づくりについて、人口減少あるいは少子・高齢化の中で今の地域での生活を維持することが困難だということを前提にして中心市街地と各地域の生活拠点の役割、それらが連携していくというのを市民と協働で議論をする。

## 夢ある子育てひとづくり豊かな文化づくり

**問**

可能性を伸ばし、人生が豊かになる環境づくりが不可欠。「共育」ともに育むを実現する施策は。教育長に伺う。

**答** 三ツ教育長

子どもも大人も、そして組織もそれぞれが主役になりともに育ち合う、そういう関係性を築いていくことだと考えている。人のつながり、そして語り合い、こういうことが大事だと思いい、教育の施策を推進している。

## 持続可能な環境づくり

**問**

未来を見据え誇れる景観を備えた中心市街地の形成と地域の拠点づくりを市民と議論し、持続可能な都市づくりをどう両立するのか。



## 河川防災ステーションは、岡山県の意向を確認する

森真会代表  
竹原茂三



### 問

災害情報の伝達と共有を進めるため、告知放送整備事業を完成させるとともに、ライブカメラを活用し河川等の監視機能を強化していくとのことであるが、河川の監視機能を強化するため旭川と備中川との合流地点、旧落合振興局跡に河川防災ステーションを検討してはどうか伺いたい。

### 答 太田市長

いいご提案をいただいたが河川防災ステーションは、河川管理者である県が中心となり設置し、水防活動の拠点という点で水防団の関係は市が入っていく形になる。

ヘリポートとかが整備要件になっており、ご提案の場所ではちよつと広くしたぐらいでは難しいと思う。設置主体が岡山県であり

よくわからない点もあるので、県の意向も確認していきたい。当初予算で既存の河川監視用ライブカメラをインターネットやM-I-Tで見れるようにしていく。

### 問 「地域認定空き家情報制度」を新設する

農業の担い手について、新規就農者はもちろん移住就農者の確保、農ある暮らしを楽しむ中高齢者、真庭ライフスタイルに共鳴して移住する方を支援するためにも、空き家の実態把握と対策を地域と連携して交流定住に結び付け、空き家や耕作放棄地を活用してもらえる体制を早急に構築すべきと思うが、見解を伺いたい。

### 答 太田市長

真庭市全域の空き家の実態調査を平成30年度に実施する。その活用を含めどう

していくか個別に対応していきたい。空き家の取得や改修への補助金、宅建協会を通じて空き家情報バンクもやっているが、さらに自治会とか地域自主組織において空き家の所有者の同意のもとに地域が空き家の情報を管理する「地域認定空き家制度」を作って空き家情報を広く集めその発信をして、マッチングしていきたい。地域認定空き家情報に登録された物件にその所有者が持っている農地、専業でという人はいるかもしれないが、ある程度自給自足等農業を楽しめるというような人が多いと思うので、現行10aから50a、1反から5反になっている農地取得の下限面積を引き下げる方向で、具体的に検討している。この仕組みの導入により移住の促進と空き家対策、さらに耕作放棄地対策にもつながっていくと考えている。



クリエト菅谷で、小水力発電キットを用いて発電を体験する真庭高校落合校地の生徒たち

### 問 地域で作り出したエネルギーを地域の経済発展につなげる

エネルギーエコタウン真庭を目指すため、新たなマイク口小水力発電の立地可能性

### 答 太田市長

調査等に取り組むようだが、早期にマイク口小水力発電の実施ができるのか、その電力を何に使うのか伺いたい。

環境教育にも役立つし、小規模ながら地域に安定した電力を供給できる点で意味がある。



## 安全、安心で魅力ある地域づくりを

みんなの会代表  
中尾 哲雄

## 問

①周辺地域にお住いの方達には移動手段の確保が重要である。住民だけでは解決できない法律の問題、既得権益の問題等が生じた場合には、行政の力が必ず必要である。市長の考えを尋ねる。②熟年者や女性をもっと広く活躍できる社会も必要。子育て中や子育ての終わった女性が、もっと活躍できる働く場所・会議・会合に参加できる機会を作ることとは大きなことだが、ともすれば同じような仕事経験者ばかりが集うことが良くある。世の中に多くの人材を輩出する大きな立役者は、主婦の方々である。市長の考えを尋ねる。③高齢者の地域支援では、介護予防のためのお助け訪問事業がある。1時間ほどの訪問支援で高齢者にとっては自立のための活力を与え、良い会話の時間となって精神

的な支えとなつていと思う。この制度の充実は出来ないか伺う。④健康づくりだが、各種がん健診、精密健診の受診率向上の取組で、あまり効果を発揮していないのではないかと感じている。過去のように受診情報を市民に開示して受診率を高めることが必要ではないか。市長の考えを尋ねる。

## 答

太田市長

①課題もある。タクシーとの関係だが、お互いに生きていく道を探る。②女性の活躍する場は広くなっている。③社会福祉協議会と連携して取り組む。④多くの方が受診できるように工夫する。

## 力強い循環型の地域経済づくりを

## 問

①農業を営もうとする若者の為に講座、研修会を設け資格の取得も必要と考える。市長の考えを尋ねる。②畜産支援について、真庭



真庭地域畜産共進会の様子

から全国でも有名になる和牛を飼育されている農家への支援は出来ないか。③木質資源の循環について、日

本の現状から見ると、海外の需要を拡大する方法も必要と考える。輸出が進むならその支援策はどうか。

## 答

太田市長

①新規就農者を対象に経営の基本を学べる「起農」農を起すスクールを行っている。②繁殖農家、肥育農家を問わず支援する。③業界と一緒に道を探る。

## 持続可能な真庭の環境づくりを

## 問

①持続可能な環境の中でエネルギーの再生を考える必要があり、小水力発電所も有効な方法と思うが市長の考えを尋ねる。②環境と言えば普段の生活の範囲での美化活動も入ると思う。水質も大きく変わったと感じている。希少生物の絶滅を防止することも、旭川上流域にある自治体としての責任は重大と考える。具体的な施策を伺う。

## 答

太田市長

①採算性が合えば小水力発電についても可能性を探る。②可能な限り市民の皆様と一緒に環境保全をし、きれいな水を流し確保し、生物多様性とその保全に努める。



## 集落（地域）ぐるみで取り組まない意味がない

真和会代表  
緒形 尚



### 問

野生鳥獣による農作物の被害は、農業者の営農意欲低下等を通じて耕作放棄地の増加等をもたらし、集落の崩壊にもつながる。多くの地域で高齢化も進み、個人の力では手の打ちようがない。野生鳥獣との共存を考えた上で、被害防止対策を強化していく必要がある。今後の被害防止対策について市長の考えを伺う。

①侵入防止柵の設置など、被害を防ぐ被害管理をどうするか。②狩猟、駆除などによる個体数管理をどうするか。③農地の周辺で放任されている柿や桑の木を撤去したり、山際のやぶを刈り払い、農地との間に緩衝地帯を設けるなど、山地と農地の間ですみ分けを促す環境管理をどうするか。④ジビエ料理や農泊な

どもにも活用し、対応すると言っているがどうするのか。

### 答

太田市長

①防護柵の設置が基本であるが、個々の対策では効果は出ない。集落ぐるみが大事である。防護柵の正しい張り方、設置後の管理も重要で、研修会など啓発活動を充実させる。②真庭市鳥獣被害防止計画で、計画的に捕獲している。市東部地域でシカの被害拡大が懸念されるため、県と連携して有害捕獲許可の捕獲補助金額を増加するなど、シカ対策を強化していく。③山と農地との間に、緩衝帯を設ける。柿の実や野菜くず等を放置しないことなど、市民が身近にできる取り組みも必要である。④捕獲した鳥獣を地域資源として有効活用する。北房地区の農泊の素材としても活用する。ジビエカーを導入したいと思う。

### 問

## 育ちの連続性を高めるために連携

就学前教育（幼児教育）と小学校教育の間には、発達

と学びの連続性が成り立っている。幼児教育は人の一生を左右する大切な時期である。1・2歳児が大切なのは、



河内こども園と河内小学校の交流

### 答

太田市長

その時期に人を信じる力や愛着関係ができると言われ、3歳から5歳は自己調整（制御）や自分が行動主体である主体性の感覚がさまざまな領域を超え、生涯にわたるその後の成果につながるとても大切な時期である。市長、教育長の考えを伺う。

### 答

三ツ教育長

就学前の保育カリキュラムを作り、伸び伸びと心豊かに意欲を持って生活する子どもの育成を、保育・教育目標として取り組んでいる。家庭の重要性ということも市民・保護者の方に理解いただきたいと思う。

幼児期は、生涯にわたり学んでいく基礎、後で伸びていく力を築く。生きていく力の基礎を豊かにする上で非常に重要である。児童期は、知・徳体のバランスのとれた成長を通じて、社会の一員となる基礎的な資質能力を養うという大切な役割がある。就学前教育と小学校教育の接続期の充実が求められると考えている。



## 個人質問

## 子育て支援策「出産祝い金制度」等の創設は

山本久恵



## 問

真庭市では、人口減対策に全員で取り組んでいるところである。対策の一つとして、妊娠・出産・子育てなど切れ目のないサポートシステムがある。出産は、結婚に次ぐ人生の重大な節目であり、母子の健康もさることながら、経済的にも多くの出費が伴う。病院等で出産すると、退院時にチャイルドシートが必需品である。このチャイルドシートは、成長に合わせて複数必要になる。出産時「木のおもちゃ」や「本」の贈呈も良い子育て支援策だが、経済的な支援策として「出産祝い金」制度（チャイルドシート購入補助金）のような支援策が創設されれば、よりよい子育て環境になる。市長の考えを伺う。

## 答

太田市長

出産祝い金制度の提案ですが、当市では子育て世代へ経済的支援として、保育料の第3子以降の無償化や学童保育などに取り組んでいる。それぞれ政策を打つ場合は、目的・対象・手段が



子どもの健やかな成長を願ったこいのぼり

あり、地方自治法では、公益性がどこにあるかが大前提である。近隣の市の例を調べたところ、個人給付により効果があるかどうか疑問である。

日本は、国民の税負担率が北欧に比べて低い。社会保障もその範囲内で充実している。やはり

子育ては、個人の意思・負担ですべきであり、市は子育て環境を整えていく。「リサイクルプラザまにわ」で中古のチャイルドシートを貸し出しているの

で、利用してほしい。

議会でも議論をし、主権者（市民）がもっと意識を高めるようなそういう行政施策と結んで、公的な施策を打つべきだと考えている。

## 元気はつらつデイサービス事業の利用期間延長を検討

原 秀樹



## 問

昨年9月定例会で、総合事業の「元気はつらつデ



地域ボランティアによる「ささえあいデイサービス」の様子 上水田地区

イサービス事業」について独自調査による問題点・改善点を参考として申し上げた。答弁では、「現時点では、検証出来ないため、今後卒業された方々を含め、コーディネーターや事業所等の関係者と共に実態把握をし、検証を行い条件整備を行っていく。」とのことであつた。各関係者間での実態調査の内容・結果及び平成30年度からの条件整備としての改善内容をお伺いする。また基本的な制度設計の見直しや市内の医療・介護を考える民間団体の会合への職員の積極的参加を指導されては如何か。

## 答

太田市長

平成29年5月から7月末迄の間に卒業された利用者95名を対象に現在の生活状況等の調査を実施した。課題は3つあり、▼6か月で卒業しても在宅生活が困難であ



り、卒業後の集いの場の遅れがある。▼利用者が減少しており、サービス提供者の経営を圧迫している。▼適正な効果判定が困難である。平成30年度からの事業改善は、▼身近な集いの場を生活支援・予防介護コーデイネーターを中心に進めていく。▼サービス利用が必要な人がサービスにつながつていない現状が見受けられる為、事業の周知・啓発に努める。▼現在の利用者の大半が80歳以上で6か月間では効果が認めにくい為、利用期間を延長して本来の効果を得た状況で判断出来るよう検討する。また制度設計においても、もう少しどうしていくか組織として検討行う。職員全員に現場に出て実態把握することを徹底し、政策に反映していく姿勢でやっていきたい。

**答** 稲田健康福祉部長

現在、6か月を9か月でどうかと検討している。すぐに効果が見えない場合に6か月でしつかり効果を見た上で判断するということが検討している。

**正規職員の定年延長については否定する**

河部 辰夫



**問**

働き手不足解消のため市が率先して定年延長制をすることは出来ないか。

**答** 太田市長

世代交代の観点から、新しい息吹を起していくということが大事である。幸い、真庭市の職員の方は退職した後地域で貢献していただいている方が非常に多い。ある意味では理想的かと思っている。

**職員の待遇については人事院の勧告に従って行う**

**問**

経営体制強化のため、待遇の改善を検討することは出来ないか。

**答** 太田市長

これについてはいろんな

意見があるが、結局は人事院勧告を尊重する以外にない、ということ。今後とも人勤を一つの基準として処遇を考えていく。

**林業学校の設立を要望**

**問**

山に向う人を養成するため専門学校をつくることは出来ないか。

**答** 太田市長

これも前から議論が出ているが、ぜひ必要だと思っている。真庭市としても岡山県に対して林業、林業産業の先進地である当地へ林業学校の設立を強く要望しているが、何ら反応がない。今後、さらに広く他地域と連携して、林業、木材産業の関係団体を巻き込んで、より強力に働きかけていきたいと思っている。

**新しい林業管理システムを**

**問**

真庭の森林形態をどうするの。

**答** 太田市長

今の課題は、人工林の面積比で73%が林齢、山の年齢、木の年齢が45年以上になる。国のほうで、森林経営管理法案が出ており、新しい林業管理システムをつくるということであり、市町村が積極的に動かない民有林の管理を引き受ける。



水源かん養林として期待される雨乞山 下湯原地域

**愛育委員・栄養委員の選出方法等抜本改革を**

岩本 壯八



**問**

愛育・栄養委員選出については各地区あるいは自治会において大変苦慮されている。高齢化、人口減少で出したいが出せない地域が増えていく。両組織ともなくてはならない存在にも関わらず、全体的には衰退傾向にある。特に栄養委員の減員が顕著。暮らしの一番近くで子どもから高齢者に関わる大切な存在。委員の負担軽減に取り組んでいるが、根本的な改善策になっていない。①両委員の充足率②選出できていない地域へのフォロー③任期2年間をかけて組織編成の抜本改革をされる考えは。

**答** 太田市長

①2年ごとの改選を追うごとに選出の困難さが増している。愛育委員で96.5%、栄

養委員で74.6%ということで、率が落ちていく。人口減少対策として問題意識に置いている。②選出困難な自治会は、小・中学校区単位、振興局単位、エリアを区切らない単位、あるいは市内全域での活動をしている。③両委員のご意見もいただきながら改善していきたい。



愛育委員による虫歯予防教室

## 商業振興にプレミアム商品券の発行を

**問**

少子・高齢化が急速に進む中、大型店舗の相次ぐ出店やコンビニ店間の競争が激化する出店により従来の地域の小売店は大変厳しい経営環境にある。販売額低下、後継者不足も深刻。平成19年で1,020軒あった小売事業者が平成29年には868軒と15%も減少。市では平成27年度にプレミアム商品券を販

**答**

太田市長

一定の消費喚起効果は認められるが、市単独で出すのはどうか。人が集まる政策をとることが大事。諸政策を総合的に進める。

## 網膜芽細胞腫の早期発見の啓発

妹尾智之



**問**

目の中にできる悪性の腫瘍で、5歳以下の乳幼児に起こる。症状は目が光って見える白色瞳孔と斜視、発症の比率には男女差はなく、片目だけの片眼性が65%から70%、両目とも発症する両眼性は30%から35%と言われ、片眼性は3歳くらいから就学前に見つかることが多い。両眼性は生後すぐから1、2歳で見つかることが多い。悪性の腫瘍なので命にかかわることもある病気で、脳に転移した場合はほぼ100%近く



1歳6か月児健康診査の様子

命を落とすことがある。まず早期発見が大切である。早くわかれば、さまざまな治療法を試すことができ、眼球を摘出しなくても済む。手おくれの代償が余りにも大きい病気なので、ポスター、リーフレットやパンフレットなどを活用して乳幼児健診を担

**答**

稲田健康福祉部長

見逃すと重症になるというのはしっかり認識をさせていた。乳幼児の健診には、母子手帳の中に6か月から7か月ごろの保護者の記録で、瞳が白く濁ったり黄緑色に光つてみえたりしたらどうかという問いかけもある。母子手帳の記入もすっかり保健師のほうからお母さん方によく伝えて、そういったことがあれば専門のお医者さんのところで早く診るようという声かけはしていくように指導していく。



**廃校で地域の活力が失われないように有効活用したい**

小田 康文



**問**

4月に廃校になる北房地域の4小学校については、平成28年から廃校後の跡地の処分方針が地元へ告げられている。最初に地元へ利活用案の募集をするというもの



143年の歴史に幕を閉じた皆部小学校

が当然である。特別な事情がある場合を除いて条件は同じというの

**答**

太田市長

である。地元から提案が無ければ全国公募で活用策の提案を求めるが、応募がなければ解体も視野に入れると聞いている。しかし、津田小学校と別所小学校では公募で活用策の応募が無かったが、地元へ貸し付ける予定であると聞いている。貸し付け条件は同一であるべきではないか。

**現地調査もして、賦課徴収に努める**

**問**

地方税法により公道走行の有無にかかわらず、乗用の農機具、トラクター、コンバイン、田植え機などは軽自動車税の申告をしてナンバープレートを着する義務があるが、義務を果たしてない所有者がおり、是正が強く求められている。税負担の公平性は絶対に担保されなければならないが市長の見解はどうか。

**答**

太田市長

特例はないようにするというのが、税の基本である。そうしないと正直者がばかを見る、信頼性が失われる。住民税の申告相談のときに聞き取りをして、未申告と思われる方には申告していただくよう促していく。また申告されない方には現地調査もして、賦課徴収に努める。今まで以上にこの件に関しては体制を強化していく。

**小中学校の防災教育における教育委員会の指導は**

大月 説子



**問**

小中学校における安全に関するアクシデントやヒヤリ・ハットの発生状況、防災マニュアルに沿った訓練の実施状況を教育委員会はどういうに掌握し指導しているのか伺う。

**答**

三ツ教育長

防災教育は、何か特別な教科、領域で行うのではなく、学校教育活動全体を通して教育課程に位置付けている。アクシデントの発生状況については、発生後速やかに報告するという



引き渡し訓練の様子 勝山小学校グラウンド

約束で取り組んでいる。避難訓練の実施状況については、毎年調査をし、課題が見られた場合は、該当学校に指導し改善を求めている。また防災教育に関する教師の指導力向上については、岡山県が毎年実施している安全教育担当者研修会を受講



し、各学校でフィードバックすることになっている。

## 生活支援コーディネーターの配置方針とその役割

**問**

地域づくりを支援するための生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進するためにどのような人材を配置し成果を目指すのか伺う。

**答**

稲田健康福祉部長

地域共生社会をつくることを目的にこれまでの専任1名を7名に増やす。社会福祉士や介護支援専門員や看護師等の資格を持つ人材を本庁に1人と、各日常生活圏域に1人ずつ配置し計7名にする。久世と落合は直営とし、その他の圏域は地域の社会福祉法人に委託する。

健康寿命の定義のもとで成果目標の数字が出るように、県や国に要請していきたい。また地域ケア会議で出た課題を一つずつ解決することが成果だと思う。

## 公営住宅に空きが多い、有効に利用すべき

古南源二



**問**

市営住宅に空きが多いように思う。市営住宅の募集状況を確認したが、4月に退去され12月の広報紙に掲載されたものもあった。広報紙を見ない方もいるので、募集の方法をひと工夫してどうか。市営住宅も有効に使って家賃収入を増やしてはどうか。人気の無い住宅の家賃を下げることは出来ないか。高齢者は民間アパートに入りにくい。美甘地区にあるような単身者向け住宅のような、高齢者も安心して暮らせる状況は作れないか。

**答**

太田市長

入居者が退去して、室内の清掃や修繕を経て募集開始まで約3か月かかっている。3か月は長すぎる。市民共同の財産であり、退去後にいかに早く次の人が住めるようにするか使用料の問題だけ

ではなく、住居に困っている方もいるので入居者の退去、募集開始に至るまでの期間目標を決めて、ほかも含めて事務の標準化を行っていききたい。広報紙だけではなくホームページとかMITも使いながら情報発信に工夫をしていきたい。住宅家賃の算出方法は公営住宅法に基づいているが、需要が無ければ



増水で流れ着いた大量のごみ(旭川・真庭市内)

**問**

## 市民の心を一つに旭川の美化を

ば落とすことは可能。空家のまま放っておくよりは安くても利用していただく方が良いから、柔軟に考えていきたい。高齢者の単身向け住宅は用地の確保、整備工事等難しい。必要ならば民間空家を活用した方が良いと思う。

**答**

太田市長

昨年10月の台風による増水で市内の下流域に大量のゴミが流れ着いている。山紫水明の真庭市にふさわしくない。市民の心を一つにして旭川の美化に努める取り組みが必要と思う。

河川管理者に要望はしながらも、川に関心を持って実態を知って、私どもも美化活動等を市民運動にしていかなければならないと思う。

## 人口減少時代の地域づくりとSDGs目標は

岡崎陽輔



**問**

所信表明で、社会、経済が均衡ある発展を目指す持続可能な開発目標SDGsの考え方を今後の大きな地域づくりの柱にしておくことを表明した。①市民にとってどんな意味を持つのか。②地域エネルギー自給率100%の目標は、達成年度を設定した目標となるのか。③SDGsの目標達成には、住民自治の確立が必要だ。地方自治法で規定されている地域自治区、地域協議会など、行政と市民が一体となった、自治分権のシステムづくりが必要では。

**答**

太田市長

①SDGsは、永続的な発展を目指し、真庭市の政策と一致する。真庭にふさわしい目標を作って、SDGsを進めていく。②平成23年度に、再生可能エネルギー推進に関する宣





旧遷喬尋常小学校の講堂

言が行われている。今のところ一つの姿勢と捉えてもらいたい。③地域の自立をどうしていくか、小規模多機能を持った住民自治の仕組みを促し、議論しながら単位をつくる。

**問** 中心市街地形成や各地域の生活を支える拠点充実につながる都市づくり計画を策定するとしているが、根拠法は何か。

**答** 平成26年都市再生特別措置法が改正され、居住機能、福祉、医療、商業など都市機能の立地等を効果的に誘導するための立地適正化計画を市町村が作ることが可能になった。

**問** 旧遷喬小学校校舎の整備活用は保存との整合性を

国指定重要文化財旧遷喬小学校校舎について、整備構想策定の検討組織を立ち上げるとしているが、保存と活用の整合性がある議論が必要。担保されるか。

**答** 三ツ教育長

ほぼ人選を終え来年度早々検討開始したい。保存と活用、これを両論とした議論を担保し、文化財の保存に配慮した活用策を策定したい。

液肥化施設、少し急ぎすぎているのではないのか

庄司 史郎



**問**

① 今現在、農業振興課において調査研究を行っているが、その結果が良いものばかり出てくるとは考えられない少し急ぎ過ぎているのではないか。結果を踏まえて、十分検討してから進めるべきと考える。市長の考えを伺う。

**答** 太田市長

① 平成25年に真庭市廃棄物減量等推進審議会から、



真庭市役所本庁舎南にある液肥スタンド

るが、生ごみ、し尿、浄化槽汚泥を資源化する施設であり、し尿処理施設との単純比較はできないけれども、どちらも施設建設費に大差はない。コスト比較は全ての関連事業を全体見て評価すべきであり、廃棄物処理コストだけ見ても確実に削減効果があると思っている。

**答** 有元生活環境部長

真庭市にふさわしい廃棄物処理システムには生ごみ等の液肥化、紙ごみの資源化、焼却施設の集約化が必要であるという答申を受けている。各論ではなかなか困難な点があることは承知している。ここまで来たので、来年度からは用地選定作業にかかり、平成35年度の操業開始目標にして、一日も早くやっていきたいと思っている。鋭意事業を進めていく。

② 液肥化事業コストである。焼却施設があれば、全体に及ぼす影響としては収集運搬車が一日何台も出入りすることになるので、この量も減らしていくというところを一緒にやらないと、すぐに統合ということにならない。すぐに効果が出るということは約束できないが、我々とするればそれを目指して今やっているところである。





## 議場とロビーを花見客に開放

久世トンネル桜の花見を楽しんでもらおうと、4月2日から6日まで市役所4階の議場とロビーを市民の方に開放しました。来年も満開の時に開放する予定です。写真はトンネル桜、今年は早く咲きました。



## 議会活性化推進検証部会

4月7日撮影

3つの常任委員会より各2名が選出され、竹原茂三部会長以下6名で、平成28年度に作成された議会活性化推進15策に沿った議会活動が行なわれているかどうかを、昨年12月から8回の部会を開き検証しました。真庭市議会活動の成果と課題を認識し、今後の議会活動に生かします。



4階委員会室にて

## ICT化推進部会

真庭市議会ICT化推進部会では、議会活動にタブレットを活用しようと考えております。執行部からの資料を素早く検索する事ができ、資料を常に携帯し、市民にも素早い情報提供ができます。9月議会からの導入に向けて機種選定に係る作業を進めているところです。



集合・整列

## 真庭市消防初出式

3月11日、落合白梅総合体育館にて真庭市消防初出式が、多数の来賓をお迎えし厳粛に開催されました。辞令交付並びに宣誓は美甘方面隊山口浩司団員が行い、その後、藤元敬団長が訓示を行いました。また、表彰では多くの団員が長年のご功績と模範となるご活躍に対して栄えある賞を受賞されました。受賞者の皆様おめでとうございます。



写真のモデルは網島事務局長（左）と南主幹、職員には作業服等の貸与はありません。

議員が非常災害時における現地視察、調査等の議会活動を行う時に必要な被服等を新調し、貸与を受けました。貸与期間満了時又は辞職その他の理由により議員の身分を失ったときは、貸与品を返却する事としています。

## 非常災害時の活動服を新調



## 議員全員協議会を全協と呼ぶ

3月23日、市役所4階の委員会室で議員全員協議会が開催されました。全協（ぜんきょう）と呼ばれるこの会議は、名前の通り議員全員（24名）が出席します。この日は、議会報告会の日程及び会場についての協議でした。写真は全協の様子。





年齢は	20歳未満	1.0%	時期は	参加し易い	72.0%
	20歳代	0.0%		参加しにくい	9.8%
	30歳代	1.0%		自由意見	11.1%
	40歳代	6.2%	議会報告	分かり易い	47.2%
	50歳代	16.3%		分かりにくい	5.0%
	60歳代	32.1%		どちらとも…	33.5%
	70歳代	34.0%	市民と語る会	分かり易い	51.4%
	80歳以上	8.1%		分かりにくい	4.1%
性別は	男性	87.1%		どちらとも…	24.3%
	女性	12.0%	感想は	改善すべき点	8.6%
地区名は	北房	7.7%		良かった	40.2%
	落合	49.3%		普通	27.8%
	久世	8.1%		悪い	0.5%
	勝山	26.3%	今後の参加は	参加する	62.2%
	美甘湯原中和	0.0%		参加しない	1.9%
	八束	4.3%		どちらとも…	14.4%
	川上	3.8%	議会だより	ほとんど読む	36.2%
	議会だより	19.4%		ときどき読む	25.8%
何で知った	チラシ	29.7%		読む事がある	11.3%
	告知放送	11.3%		読まない	1.4%
	ホームページ	2.2%	ホームページ	よく見る	7.1%
	新聞記事	2.8%		ときどき見る	17.1%
	M I T放送	7.5%		見た事がある	16.5%
	議員知人から	22.2%		見ない	24.5%

※100%にならないのは、その他や回答なしがあるため

### 感想意見(抜粋)

- ・ 小学校単位の開催は良かった。・ 説明がまったく分かりにくい。質問に対し答えになっていない。・ 議会の実態がつかめたのは良かった。・ 市議会の具体的解決策は全くない。・ 介護の問題、家庭介護者について考えてほしい。・ 議会改革をこのまま進めてほしい。・ 誠実に応えてもらいました。困難な難しいことばかりですが、自助、共助で頑張らなければなりません。・ 住民も市政にもっと関心を持つべきと思う。・ 大勢の議員さんが真摯に私共に説明してくださって感動、感謝でした。「ざっくばらんに語ろう」は良かったと思う。・ 行政に無関心であったことに反省するとともに今後は関心を持っていきたい。
- ・ 議員定数、報酬の見直しを再検討されたい。定数20、報酬10万円u p・ 今後も市民と語る会を継続してほしい。年間2～3回開催でもよい・ 議員さん達に熱意が全く感じられなかった。・ 配布説明資料を十分練って作成し、説明してほしい。重要なもののみに絞ってほしい。
- ・ 月田に来て、飲みませんか。・ 議員定数減・ もっと若い世代が参加できるように広報をお願いします。
- ・ 司会が上手でよく分かった。議会だよりのデザインが最近きれいになった。幅広い分野での意見が聞けて良かった。・ 財政の報告もお願いします。



## 議会報告会+市民と語る会 正副班長、議会運営委員会合同会議

3月5日、20日と4月4日、24日に真庭市議会報告会+市民と語る会の正副班長・議会運営委員会合同会議が開催されました。市民からいただいた意見提言の取りまとめを各班の報告書をもとに、会場で完結しているもの、各常任委員会で調査研究が必要なものに分ける作業を行いました。実施報告書は5月1日から議会ホームページで公開しています。

真庭市ホームページで「議会報告会」で検索ください。なお、報告書は市役所4階の議会事務局でも閲覧できます。また、平成30年度の議会報告会+市民と語る会は5月16,17,18日の3日間、市内12会場で開催します。最終ページに開催案内を記載しています。写真は3月5日撮影。



GIKAI NO UGOKI

# 議会の動き

特別バージョン



## 祝 落成

北房小学校  
北房こども園  
放課後児童クラブ

至道高校跡地に建設中だった北房小学校（児童213人）、北房こども園（園児155人）、北房放課後児童クラブが完成しました。総工事費は41億3,900万円で外構工事は8月末の完成となります。真庭産の木材、CLT（直交集成板）をふんだんに使っているのが特徴です。同一敷地内に園児、児童が生活学習する幼小連携教育環境が整ったとして全国から注目されています。15枚の写真で紹介します。



- ① 桃山橋から撮影
- ② メディアセンター
- ③ 小学校正面玄関
- ④ 体育館 開校式
- ⑤ 北房小5年2組
- ⑥ パソコン教室
- ⑦ 加藤晃 校長
- ⑧ エレベーター
- ⑨ 2歳児用トイレ
- ⑩ 福島真喜子 園長
- ⑪ こども園の全景
- ⑫ 5歳児保育室
- ⑬ なかよしホール
- ⑭ 3歳児保育室
- ⑮ 放課後児童クラブ





# 6月定例会は7日から

## 6月定例会の請願・陳情は 5月31日(木)まで

6月定例会の請願と陳情の受付は、5月31日(木)までです。

9月定例会の締切は8月31日(金)、  
12月定例会の締切は11月30日(金)、  
来年3月定例会の締切は1月31日(木)まで  
です。様式などの問い合わせは議会事務局  
までお願いします。ただし、土日祝祭日等の  
市役所の閉庁日は除きます。

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、  
陳情の場合は、議員の紹介は必要ありません。

6月7日(木) 本会議(開会、提案説明) ●会議は通常午前9時  
30分に開会します。  
11日(月) 本会議(一般質問) ●正式には5月29日の議会運  
営委員会で決定します。  
12日(火) 本会議(一般質問)  
13日(水) 本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)  
18日(月) 常任委員会  
19日(火) 常任委員会  
20日(水) 常任委員会  
21日(木) 予算審査特別委員会  
26日(火) 本会議(委員長報告、採決、閉会)



まにぞう▶



ふるさと  
1枚

20回目を迎えた勝山のお雛まつり 3月4日撮影

## 議会クイズ

真庭市議会には3つの  
常任委員会が設置されて  
います。総務常任委員会、産業建設常任委員会とうひとつは〇〇〇〇常任委員会？

正解者の中から2人に「クッキー詰め合わせ」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を28ページ緑欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

▶締切 5月31日(木)



## 議会おもしろ話

### あるある

あるある① もう廃止されているのに「議員年金があるからいいよね」と言われる。「議員さんなの？じゃあ、議員年金があるから安泰ね！」なんて言われることもしばしばですが、議員年金は、すでに制度としては存在しません。過去に「議員特権」と批判されることも多かったことから、平成23年に廃止されました。廃止前に収めたお金は、満額ではなく一部が戻ってくるのみ。つまりのところ、今、現職の市議会議員に公的な年金制度はないのです。市議会議員には、社会保障的な公的制度はなく、他に仕事をしていない市議員は、国民年金と国民健康保険で社会保障をまかなっている。ちなみに、退職金の制度もありません。

あるある② 「先生」って呼ばれるけど名前を覚えてもらえていない。どこかの会合に向くと「先生」と呼ばれることも多い市議会議員ですが、「先生」と呼ばれがちならでは「あるある」の一つが、ちゃんと名前を覚えてもらえていないのに「先生」で通ってしまうこと。とりあえず、「先生」って呼んでおけば、失礼に当たらない！というのは、確かにそうかも。

## 議会番組を M-I-Tで

M-I-Tで

真庭市議会定例会  
及び臨時会は、真庭  
いきいきテレビ「M-I  
T」のサブチャンネル  
(122チャンネル)で生中  
継しています。

## 議会広報編集特別委員会

委員長	緒形 尚
副委員長	氏平 正
委員	古南 篤
委員	柴田 源
委員	庄司 正志
委員	原秀 郎
事務局	南俊 樹
事務局	角田 正樹



春の蒜山 kozue

「市民と議会のいい関係づくり」のため、がんばりますので、よろしくお願ひいたします。  
議会広報  
編集特別委員会

# 議会 広報



油絵 筍 沼本務



水墨画 頓珍漢



ジャンプ PN.今日



美甘宿にて.. 渡辺孝純

## 議員を身近に感じた

柴床義昭さん  
上中津井

参加したみんなの声としては人気がよかった。議員を身近に感じることができた。歴史ある北房の小学校が無くなるのは寂しいが、その話もたくさん聞いた。

なかつい陣屋に初めて来られた方もいて、来年もこういう催しを続けてもらいたい。

## 議題を絞り深い話を

市登さん  
野川

区長をしている関係で出席したが、地域の課題をざくばらんに話せて良かった。勉強されている人とされていない人、議員の実力の差を感じた。本気で議論しようとする時間が足りないので、議題を絞って深い話が今後はやりたいと思った。

## 開催の時期を検討

中山克己さん  
余野上

小学校区での開催は、こじんまりして良かった。地元で議員さんがいないので、議員さんと地域の課題についてしっかり話せた。特に学校統合の問題について地域の想いを伝える中で、課題の共有ができたことは良かった。開催の時期については検討が必要だと思う。

## 議員と公式な場で、話をする機会はとても大切

宮島郁夫さん  
月田

他地区の議員が来て話ができたことはとても良かった。旧町村の垣根を取っ払いたい。議員と公式な場で、話をする機会はとても大切だ。地元としても女性や若者の動員に協力するので、今後も続けて欲しい。

報告会に参加して

インタビュー

報告会に参加して

# 集



# 市民の 広場

ここは市民みんなでつくるページです  
楽しい気持ちでご参加ください



久世第二保育園  
卒園しまーす!



フラワーアレンジメント Yu-



きいちゃんと私 PN.田



祭りのりのちゃん⑩



自画像 K



みんなで作ったちぎり絵



バードカービング 工房やませみ 橋本真久



真庭市応援団 馬内雄大



久世エスパスランド花広場 Dora

# BO

絵画、写真などを募集しています。住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。

「投稿! 言いたい」は200字以内にまとめ、ご応募ください。文責として氏名を掲載します。誹謗中傷等の内容や紙面の都合上、掲載できない場合があります。

**応募先** 真庭市議会

宛先: 28ページの緑帯欄に記載しています



3  
班



1  
班



4  
班



2  
班



どの会場でも  
参加できます

## 地域の課題を

# ざっくばらんに語ろう

## 平成30年度 真庭市議会報告会+市民と語る会

5月16日(水) 午後7時～

会 場: 目木勤労者研修センター

出席者: 初本 勝 中尾哲雄  
入澤廣成 小田康文  
福島一則 山本久恵

1  
班

会 場: 天津老人いこいの家

出席者: 柿本健治 福井荘助  
柴田正志 庄司史郎  
妹尾智之 原 秀樹

2  
班

会 場: 英賀老人憩いの家

出席者: 古南源二 中元唯資  
緒形 尚 河部辰夫  
谷本彰良 築澤敏夫

3  
班

会 場: 北房楽々デイホーム

出席者: 竹原茂三 氏平篤正  
岩本壯八 大月説子  
岡崎陽輔 長尾 修

4  
班

5月17日(木) 午後7時～

会 場: 中和保健センターあじさい

1 班: 同左

マリーゴールド▶



会 場: 美甘振興局

2 班: 柿本健治 福井荘助  
柴田正志 庄司史郎  
妹尾智之 原 秀樹

会 場: 久世エスパスセンター

3 班: 同左

ひまわり▶



会 場: 大上公民館

4 班: 竹原茂三 氏平篤正  
岩本壯八 大月説子  
岡崎陽輔 長尾 修

5月18日(金) 午後7時～

会 場: 津田コミュニティハウス

1 班: 初本 勝 中尾哲雄  
入澤廣成 小田康文  
福島一則 山本久恵

会 場: 檜邑小学校体育館

2 班: 同左

ペチュニア▶



会 場: 湯原健康増進センター

3 班: 古南源二 中元唯資  
緒形 尚 河部辰夫  
谷本彰良 築澤敏夫

会 場: 禾津コミュニティハウス

4 班: 同左

チューリップ▶



赤が班長  
緑が副班長